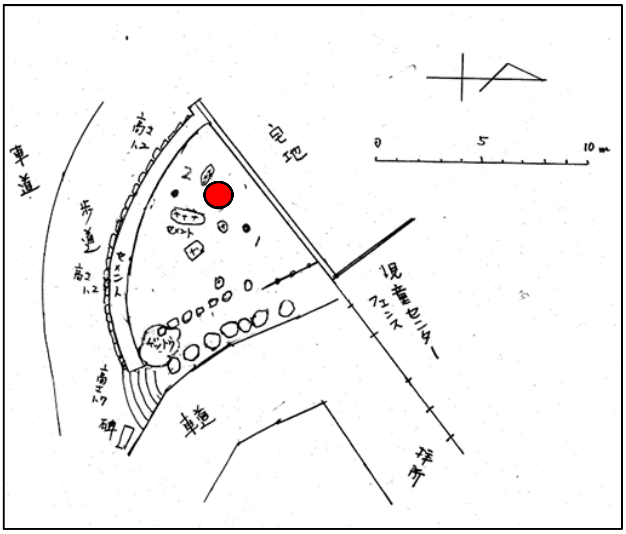
認定番号 79

内間の大アカギ

国土地理院 地理院地図（電子国土Web）



認定番号　79

樹種名	アカギ	科名	トウダイグサ科	方言名	アハギ	学名	*Bischofia javanica BL.*

形状・寸法	樹高 11 m　胸高周囲 4 m　根本周囲 4.2 m　樹幹占有面積 267 ㎡
	枝下高 2.3 m　枝張 東 9.1 m　西 7.8 m　南 9.3 m　北 10.7 m　最大樹冠幅 20 m
通称	内間の大アカギ　樹齢 110 年(推定)
所在地	浦添市内間3-28-12
所有者	1 国　2 県　3 市町村　**4 その他公有**　5 社寺　6 個人　7 会社　8 その他民有　9 不明　備考：平安座自治会所有
立地場所	1 公園　2 庭園　3 個人の庭・屋敷　4 公共施設　5 学校　6 神社寺院　**7 拝所**　8 市街地　9 街路　10 その他
状況	**1 単木**　2 樹叢中　3 樹林中　4 その他
保護制度	1 国指定天然記念物　2 県指定天然記念物　**3 市町村指定天然記念物**　4 景観重要樹木　5 保存樹　6 名木　7 その他　8 なし
周囲の状況	1 樹林　a 大面積山林　b 小面積山林　2 芝地　3 耕地　**4 建物の間**　5 道路　6 河川　7 湖沼　8 その他　(　　　)
土地傾斜	1 平坦((0～5)　**2 緩(5～15°)**　3 中(15～30°)　4 急(30～45°)　傾斜方向：
土壌	**1 堆積土**　2 切り土　3 盛土　**4 客土**　5 その他　(　　　)
基岩・母材	
地形	1 山地　**2 丘陵地**　3 台地　4 平地　5 尾根　6 中腹　7 谷　8 窪 窪　9 カルスト　10 埋め立て地　11 海岸段丘　12 その他
土性	1 砂壌土：大部分が砂で僅かに粘土を感じる　2 壌土：砂と粘土が半々　3 埴壌土：大部分粘土で僅かに砂を感じる　**4 埴土：ほとんど砂を感じない**
根元及び周囲の植生	草本　1 密生　**2 疎**　3 なし　／　低木　1 密生　2 疎　**3 なし**

気象条件(最寄りのアメダスデータ)　地点：那覇　2014年

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
平均気温(℃)	16.8	17.9	18.4	20.9	23.6	26.9
降水量(mm)	36.5	55	51.5	36.5	66.5	117.5
平均風速	5.0	5.4	5.6	5.1	4.9	5.1
風向	NNW	N	SW	ESE	S	SSW
月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温(℃)	29.3	28.7	28.8	25.4	22.6	17.6
降水量(mm)	212.0	70.5	36.5	252	30	34.5
平均風速	6.3	4.6	4.2	6.7	5.1	5.7
風向	SE	SW	SSE	ENE	NNE	N

年平均気温	23.1 ℃	最高気温	33.9 ℃
年降水量	2584.5 mm	最低気温	10.6 ℃

潮風の影響	**1 なし**　2 ややある　3 ある　4 やや強く受ける　5 強く受ける(特記)
日照条件	**1 良い**　2 普通　3 やや不良　4 不良
周辺樹木の影響	**1 なし**　2 わずかにある　3 ある　4 かなりある　5 深刻((状況)
周辺根元の状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好　**2 固結はあまりなく概ね良好**　3 固結している　a 踏圧あり　b 踏圧なし
周辺樹木との関係	**1 影響なし**　2 僅かに影響を受けている　3 かなり影響を受けている　4 深刻な影響を受けている

管理状況	1 柵　a 有　**b 無**　(有の場合の高さ　m、材質(　　)　柵内面積(　　㎡)　設置年 2 支柱　a 有　**b 無** 3 剪定　a 強　b 弱　c 無　**d 枝折等の都度処理** 4 施肥　a 有　b 無　(有の場合　回数　種類　) 5 薬剤散布　a 有　b 無　(有の場合　回数　種類　) 6 解説板　**a 有**　b 無 7 避雷針　a 有　**b 無** 8 定期的な草刈・掃除　**a 有**　b 無 9 その他
過去の治療歴と内容	
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事　a 有　b 無 5 いわれの内容 6 不明
視認性	**1 遠方からも目立つ**　2 近くに行けば見える　3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える　5 敷地内に入っても見えない　(理由　　)
特記事項	1 動物生息　a 有　**b 無**　(有の場合動物の種類　　) 2 着生植物　**a 有**　b 無　(有の場合植物の種類　ガジュマル、オオイタビ、ハマイヌビワ) 3 見学・参観者　a 有　b 無　(有の場合その数) 4 その他　生徒・父兄等

地上部の衰退度判定 （認定番号79）

評価項目		評 価 基 準				
		0	1	2	3	4
1	樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2	樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3	枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、ｼｮｳｶﾞ状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4	梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5	下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6	大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7	枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8	葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9	樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10	樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11	胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度＝各項目の評価値の合計／11（評価項目） ＝ 0.55

衰退度判定基準

衰退度区分	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
	0.8未満	0.8～1.6未満	1.6～2.4未満	2.4～3.2未満	3.2以上
	良	やや不良	不良	著しく不良	枯死寸前

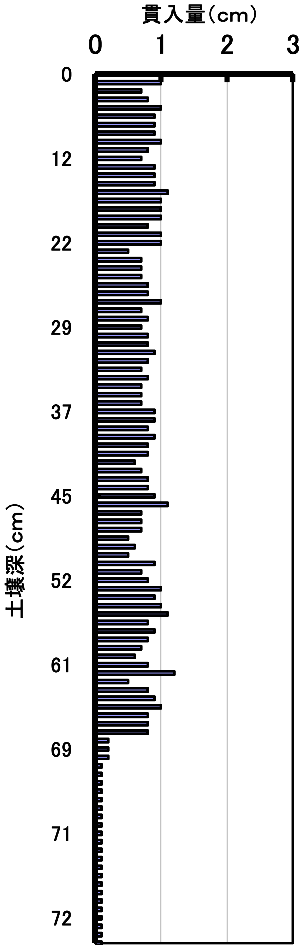
倒木・枝折れ等危険度判定

項目 ＼ 判定	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係				
根返り				
幹折れ				
大枝折れ				
中・小枝落下				
幹の傾斜の増大				
その他（　　　　）				

土壌調査結果（認定番号 79）

層位	土壌色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)	備考
Ⅰ	10YR4/4	0－5	－	埴壌土	7.7	1.7	バラスが混入している。
Ⅱ	10YR4/4	5－18	粒状･堅果状	埴土			
Ⅲ	10YR5/4	18－	－	埴土			

土壌貫入量結果



認定番号 79

内間の大アカギ

部位	所見	対応
土壌	・固結なく良好である。 ・かつての土留めと思われるコンクリート塊やコンクリート片が多い。	・可能な限り除去することを検討する。
根	・瘤状の腋根からヒコバエ数本見られる。	・無し。
	・瘤状の根の切断部位が腐朽している。	・腐朽部を削り取って殺菌癒合剤の塗布を検討する。
幹	・南西側 1.2m に開口部があるが、材の腐朽は認められない。	・定期的な観察の実施を検討する。 ・特に早急な処置は要しないが、腐朽が入る場合は外科的処置を検討する。
枝	・西側の大枝が民家に 2m 越境して伸びている。 ・北側高さ 1.5mの箇所の中枝の折損部位にハマイヌビワ、ガジュマルが着生している。	・切除を検討する。
	・小枝の折損が多い。台風の影響と思われる。	・自然回復を待つ。
葉	・異常は認められない。	・無し
備考		